

インプット	機能	施設整備の目的	施設整備の課題(整備施設例)	整備内容 (課題解決策)	整備結果 (アウトプット指標)	寄与の仕方	短期的効果 (短期的アウトカム)	短期的効果指標 (アウトカム指標)	中期的効果 (中期的アウトカム)	長期的効果 (インパクト)
施設整備事業	地域貢献機能	①地域、社会との共生	地域全体で利用可能な開かれた施設 (セミナー施設、会議室、開放スペース、レンタルラボ 等)	質的	地域に開放可能な施設・スペース数	地域住民の利用頻度増加 地域での利用ニーズ増加	地域での大学PR機会の増加 地域との交流機会増加 地域の学生確保	シンポジウム開催件数 地域イベントの開催数 地域からの入学者数	地域におけるプレゼンス向上 大学と地域の知識、人材の交流 活発化	地域の知の拠点としての機能向上 「地域経営」への大学参加の 確立
				量的	地域に開放可能な施設の面積の増加	地域との交流における収容人員の増加 交流スペースの確保				
			地域と連携し、課題解決に寄与する施設の確保 (セミナー施設、会議室、開放スペース、レンタルラボ 等)	質的	地域課題を解決するための施設スペース数	大学と自治体等の交流機会が増加 大学の知識を実践につなげる 機会の増加	地域性のある研究テーマの増加 地域の課題解決、知的資源の 集約 自治体等との連携体制構築	地域特有の問題・課題に対する研究 テーマ数 連絡協議会・連絡会議の開催回数 地域貢献プロジェクトの実施件数 地域企業からの求人数 シンポジウム開催件数 地域貢献度ランキング 地場産業との産学連携数	地域におけるプレゼンス向上 大学の知識を実践で活用し、地 域の課題を解決	
				量的	地域課題の解決に寄与する施設の面積の増加	大学と自治体等の交流機会が増加 大学の知識を実践につなげる 機会の増加				
		②生涯学習機能の充実	必要な情報を整備し、多様な利用者を集める図書館施設の確保 (図書館、図書室 等)	質的	開放面積	高水準の知識に触れる機会の増加 自主学習の意欲向上 情報提供スペースの充実 学外者の利用促進	図書館利用者数の増加 公開講座への参加者増加	図書館利用者数 公開講座の参加者数	地域の公共サービスの質的向上	高度な知識を有する人材の輩出 豊かな知性と感性を磨き、人間的魅力を備えた人材の増加
				量的	図書館の面積の増加 自主学習スペースの面積の増加 蔵書スペースの面積の増加	自主学習空間の確保 獲得できる情報量の増加 情報提供スペースの増加 学外者の利用促進				
			多様な教育環境を提供する施設の確保 (リカレント施設、サテライト教室、テクノセンター 等)	質的	生涯教育に対応する施設・スペース数 サテライトキャンパスの設置数	障がい者の社会的自立、人材育成 社会人等への教育機会の提供 遠隔地での授業機会の創出	社会的自立・貢献のできる障がい者の増加 社会人入学者の増加 サテライト授業受講生の増加 サテライト授業の講座増加	障がい者の受講者数 社会人の受講者数 障がい者、社会人の退学率 サテライト授業の受講生増加数 サテライト授業の開講講座数	地域におけるプレゼンス向上	
				量的	障がい者向け学習スペースの面積増加 社会人向け学習スペースの面積増加 サテライトキャンパスの設置面積の増加	障がい者、社会人等の利用促進 遠隔地での授業機会の創出				
		③地域との共同研究の促進	プロジェクト型の研究に対応した施設の確保 (共用の研究スペース、レンタルラボ等)	質的	プロジェクト型研究に対応できる実験施設・スペース数	共同研究の機会増加 企業との交流による新テーマの創出	共同研究の増加 研究への協力者数の増加 関連研究テーマの増加 論文数の増加 TLO件数の増加 インターンシップの増加	共同研究実施件数 関連研究テーマ数 一人当たり論文数 TLOの技術提供件数 インターンシップ企業数	知的資源の活用による地域の課題解決や新たな価値の創出	産学連携、共同研究による産業の活性化
量的	プロジェクト型研究に対応できる実験施設・スペースの面積の増加			連携先との交流機会増加 会議等開催件数や参加人数の増加						
産学官の研究開発に対応した施設の確保 (地域共同研究センター 等)	質的		産学官連携研究室・スペース数	産学官研究開発体制の活性化	支援対象案件の増加 支援対象者の増加 事業投入コストの増加 助成額の増加 技術等の実証・評価等を行うための設備等の増加 研究開発拠点の増加	支援対象案件応募数・審査数・分野別採択数・目的別採択数 支援対象大手企業数・中小企業数・地元企業数・大学等の研究者数・産学官連携体数 事業投入コスト総額、助成額 技術等の実証・評価等を行うための設備等の整備数 研究開発拠点の整備数	研究成果の事業化・製品化 研究成果の社会への還元 知的資源の活用による地域の課題解決や新たな価値の創出			
	量的		産学官連携研究室・スペース面積の増加	産学官研究連携機会の増加						

施設整備事業(インプット)・・・効果把握の対象となる施設整備事業(改修事業又は新営事業)の事業費及び施設を使用する組織、人員、設備等。

整備結果(アウトプット指標)・・・「施設整備事業(インプット)」によって提供されるスペースや施設機能であり、直接的に把握できる結果を想定(「施設整備事業」の結果を測定する指標としても使用)。

寄与の仕方・・・「整備結果(アウトプット指標)」から「短期的効果(短期的アウトカム)」の発現に至る過程を具体的に関連づける項目。

短期的効果(短期的アウトカム)・・・施設整備事業完成後、概ね2～4年程度の期間で、発現する効果。一部部門に顕著に発現し、若しくは発現が見込まれる効果。

中期的効果(中期的アウトカム)・・・一部部門に顕在化した短期的効果から発展し、3～6年程度の期間で大学全体に影響を及ぼすことが見込まれる効果。

長期的効果(インパクト)・・・施設整備事業(インプット)から中期的効果に至る一連の過程を経て、最終的に大学を超えて地域社会、日本社会、国際社会への貢献に波及することが見込まれる効果。

インプット	機能	施設整備の目的	施設整備の課題(整備施設例)	整備内容 (課題解決策)	整備結果 (アウトプット指標)	寄与の仕方	短期的効果 (短期的アウトカム)	短期的効果指標 (アウトカム指標)	中期的効果 (中期的アウトカム)	長期的効果 (インパクト)
施設整備事業	国際化推進機能	①キャンパスの国際化	グローバルな交流を促進し、国際化に寄与する施設の確保 (外国語専用施設、国際交流会館、国際会議場・ホール)	質的	国際化に寄与する施設・スペース数	国際交流の機会創出 国際的なプレゼンスの向上	海外に関心を持つ学生の増加 海外との交流機会の増加 国際化に対応できる学生、教員の増加 優秀な外国人教員の確保	国際交流協定校の数 海外からの講演招聘回数 国際的なシンポジウムの開催件数 国際的な交流イベントへの参加人数 国際的な学会・研究会での発表数・受賞数 外国人教員数	研究機能の更なる多様化・向上 研究機能等の諸外国への波及 国際的に通用する人材の養成機能の強化 地域の国際性向上への支援	国際的な教育拠点の確立 グローバルに活躍する優秀な人材の輩出 大学の国際的なプレゼンス向上
				量的	国際交流施設の収容人数、面積の増加	国際交流の機会創出 大規模なシンポジウム等への対応				
			国外官民実務者の人材を育成し、国際貢献を行う施設の確保 (海外を対象にした教育施設)	質的	外国人実務者向けリカレント教育施設・スペース数	外国語での交流促進 海外の先進的な研究テーマへの取組 外国人実務者の育成	海外とのネットワーク構築 外国人との交流増加 語学力の向上 多言語に対応した研究環境の整備 国際的に注目される研究成果の実現	リカレント教育修了者の数 語学留学の派遣人数 海外の先進的な研究テーマ件数 受講者の出身国数 国際的な学会・研究会での発表数・受賞数 海外企業との共同研究の数	教育機能の更なる多様化・向上 研究機能等の諸外国への波及 外国人の人材育成機能の強化 国際貢献による海外からの評価向上	
				量的	外国人実務者向けリカレント教育施設の収容人数、面積の増加	外国語での交流促進 リカレント教育機会の増加 外国人実務者の育成				
			コミュニケーション能力を高め、研究の国際化を促す施設の確保 (外国語専用室、外国語学習室、外国人対応研究室)	質的	外国語学習施設・スペース数 外国人対応研究室・スペース数	外国語での交流促進 外国語に触れる機会の増加	国際化に関心を持つ学生の増加 語学力の向上 多言語に対応した研究環境の整備 国際的に注目される研究成果の実現	一定のTOEICスコア取得者数 日本人の留学生数 国際的な共同研究テーマ数	国際的に通用する人材の養成機能の強化 地域の国際性向上への支援	
				量的	外国語学習施設的面積増加 外国人対応研究室の面積増加	外国語での交流促進 海外の先進的な研究テーマの取組				
②留学生、外国人研究者等への対応	滞在する外国人学生、研究者の快適性・利便性を高める施設の確保 (留学生居住施設、留学生支援室)	質的	留学生居住施設・スペース数 1人あたり居住スペース面積	学業に専念できる環境の整備 不安の解消、他国学生との交流促進 外国人の大学に対する満足度向上	留学生の人数増加 留学生の出身国数の増加 日本人学生の留学意欲増加 海外からの安定的な留学生受け入れ 外国人研究者の研究成果の向上 外国人の満足度向上	優秀な留学生の確保 国際的に通用する人材の養成機能の強化 多様な研究成果の実現 多国籍な教育拠点の確立 国際的なプレゼンス向上 海外からの入学生増加 海外からの求人数、海外への就職数の増加				
		量的	収容可能人数の増加 多国籍に対応した施設面積の増加	海外からの留学生獲得						

施設整備事業(インプット)・・・効果把握の対象となる施設整備事業(改修事業又は新営事業)の事業費及び施設を使用する組織、人員、設備等。

整備結果(アウトプット指標)・・・「施設整備事業(インプット)」によって提供されるスペースや施設機能であり、直接的に把握できる結果を想定(「施設整備事業」の結果を測定する指標としても使用)。

寄与の仕方・・・「整備結果(アウトプット指標)」から「短期的効果(短期的アウトカム)」の発現に至る過程を具体的に関連づける項目。

短期的効果(短期的アウトカム)・・・施設整備事業完成後、概ね2～4年程度の期間で、発現する効果。一部部門に顕著に発現し、若しくは発現が見込まれる効果。

中期的効果(中期的アウトカム)・・・一部部門に顕在化した短期的効果から発展し、3～6年程度の期間で大学全体に影響を及ぼすことが見込まれる効果。

長期的効果(インパクト)・・・施設整備事業(インプット)から中期的効果に至る一連の過程を経て、最終的に大学を超えて地域社会、日本社会、国際社会への貢献に波及することが見込まれる効果。